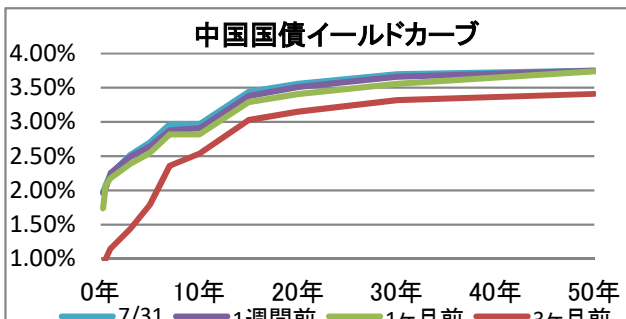
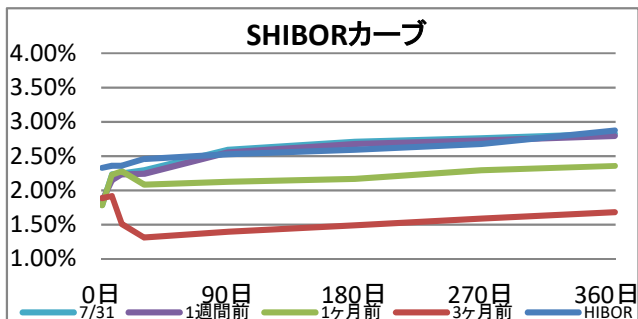


①市場概況

基準レート		2020/7/31	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9849	-0.0089
	JPY/CNY	6.6726	0.1262
SHIBOR	3M	2.9530%	+0.3960%
国債利回り	10年	2.97%	+0.11%
上海総合指数		3,310.01	+113.24



(1) 概況

中国では経済回復が確認できる経済指標の発表が続いているものの、従来の米中対立や南シナ海問題に加えて香港情勢の変化が新たな国際的な懸念に加わる状況となっており、株式市場の買戻しも政策期待を背景とするやや迫力に欠けたものとなっており、国債利回りは上昇に転じ、外為市場ではドル人民元が再度買い戻されて6.97まで低下（人民元は上昇）することとなった。

中国による香港国家安全維持法施行後の香港では、香港立法会選挙の延期や海外の民主活動家の指名手配が行われ、イギリスやオーストラリアに続きドイツも犯人引き渡し条約を停止する等、影響や波紋が拡大している。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、先週大幅な資金回収となっていたこともあって、リバースオペ期日1,600億元に対し、新規のリバースオペを合計2,800億元実施し、差額の1,200億元を供給している。

(3) 主な経済指標

・工業部門利益(6月)は、前年比+11.5%(5月+6.0%)と大幅に回復。生産と販売が回復し、コスト低下による利益率改善が確認されている。また、鉄鋼や石油等の重要業界も政策対応による回復が確認されている。

・国家統計局PMI(7月)は、製造業51.1%(6月50.9%)、非製造業54.2%(同54.4%)、総合54.1%(同54.2%)と、ほぼ前月並みとなった。製造業では輸出新規受注の回復傾向が確認されているものの、依然として雇用回復に遅れがみられる状況。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.7880%	1.5000%	1.8200%	
1W	2.2360%	2.9500%	2.3500%	2.2100%
2W	2.2470%	2.6700%	7.8000%	2.2200%
1M	2.2950%	2.4000%	7.0000%	2.2200%
3M	2.5930%	2.8500%		2.5100%
6M	2.7090%			2.8000%
9M	2.7600%			2.8200%
12M	2.8280%			2.8500%

中国人民銀行は中立調節を続けており、資金需給は概ね安定しているものの、金利水準は上昇しやすい状況が続いている。市場では債券増発の資金需給への影響が懸念されており、状況緩和に向けた金融緩和と政策への期待が徐々に高まりつつある。ターム物は、引き続き1ヶ月の2.50%前後での出合いを除き限定的。

NCDは、引き続き活発な取引が見られたものの、週後半には月末を控えてやや低調となった。金地水準は先週までの低下に調整が入る格好で小幅な上昇に転じている。1ヶ月が2.20%前後、3ヶ月が2.55%前後、6ヶ月2.80%前後が取引の中心。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	0.06%	0.07%
1W	0.10%	0.12%
1M	0.20%	0.25%
3M	0.45%	0.50%
6M	0.60%	0.65%
12M	1.10%	1.15%

需給は引き続き安定し、金利水準も低位で安定している。ターム物は、1ヶ月が0.20%~0.25%で取引されており、その他も基本的に先週と変わらず3ヶ月0.45%、6ヶ月0.60%で取りが見られるものの出合いは限定的。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.98%	2.08%	2.58%	2.65%	3.02%
6M	2.08%	2.25%	2.78%	2.72%	3.11%
1Y	2.24%	2.35%	2.84%	2.91%	3.28%
3Y	2.52%	2.71%	3.22%	3.52%	3.98%
5Y	2.70%	3.03%	3.58%	3.78%	4.43%
10Y	2.97%	3.34%	3.79%	4.06%	4.83%

債券市場では、中国経済の回復への期待と債券増発を背景に、7月半ばから続いていた債券利回りの急低下に調整が入り、利率債と短期ゾーンの利回りが10bp前後上昇している。

イールドカーブは、利率債は全体的に利回りが上昇して若干スティープニングしたもの、信用債も利回りが上昇しているものの相対的に短期の利回り上昇が大きかったことから小幅ながらフラットニングに転じている。クレジットスプレッドは利率債の利回り上昇により中長期で10bp前後縮小している。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	40.0 / 41.5
1M	149.5 / 150.0
3M	410.0 / 420.0
6M	755.0 / 765.0
9M	1062.0 / 1072.0
12M	1385.0 / 1395.0

対ドル基準レートは6.9849と前週末比-89pipsのドル安元高、対円基準レートは6.6726と同+1,262pipsの円高元安とドル安を映じた水準での設定が続いた。国内市場でも、米国経済回復の遅れへの懸念からドル安の動きが一段と強まり、金曜日には6.97台まで人民元が買い進まれている。

先物は、前週同様にドル金利の低位安定と人民元短期金利の高止まりから拡大傾向が続いており、米中の債券利回り格差拡大を材料とする人民元投資ニーズからビッドしっかりとなり、スワップ幅はここ数週間の水準を上抜けている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.32%		1.95%
6M	2.35%	2.66%	1.95%
9M	2.37%	2.68%	2.00%
1Y	2.39%	2.70%	2.00%
3Y	2.55%	2.99%	2.00%
5Y	2.71%	3.22%	
7Y	2.83%	3.37%	
10Y	3.03%	3.59%	

短期の基準金利と国債利回りがともに上昇に転じたことから、スワップ金利も小幅ながら上昇に転じている。債券利回りとの金利差のスワップスプレッドは、スワップ金利、債券利回りともに上昇して拡大に転じているものの、長期については小幅ながら縮小している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入